

2018年2月5日(月) サファリワールド オーストラリア区に

アカカンガルー3頭が仲間入りしました！



アドベンチャーワールド(和歌山県白浜町)では、2018年2月5日(月)に熊本市動植物園よりアカカンガルー3頭(オス1頭・3歳、メス2頭・1歳)が仲間入りし、これまで暮らしていたオス1頭と合わせ、4頭の群れで生活する姿をご覧いただけるようになりました。

アカカンガルーについて、アドベンチャーワールドでは、1年前よりオス1頭のみでの展示となっていました。今回1年ぶりに仲間を迎えたオスのカンガルーは、早速メスに近づきアピールし、仲間入りしたオスと取っ組み合いをするなど、野生本来の活発な動きを見せるようになりました。

既に交尾行動も見られており、近い将来、赤ちゃんが元気に誕生してくることを期待しています。

【搬入したアカカンガルー3頭について】

- 搬入元 : 熊本市動植物園
- 搬入頭数 : 3頭 (3頭とも熊本市動植物園生まれ)
 - オス1頭 2014年 11月 25日 生まれ (3歳)
 - メス2頭 2016年 7月 31日 生まれ (1歳)
 - 2016年 11月 12日 生まれ (1歳)

- エサ : 白菜、ニンジン、カンガルー用のペレットなど
- 展示場所 : サファリワールド内 オーストラリア区
- 公開時間 : 午前10時20分～午後4時00分



※サファリワールドを一周するケニア号や、歩いて周るウォーキングサファリなど、すべてのサファリツアーでアカカンガルーをご覧いただけます。

【アカカンガルーについて】

- 分類 有袋目カンガルー科 カンガルー属
- 学名 *Macropus rufus*
- 生息地 オーストラリア大陸の大部分
- 食性 主に草類。低木の若葉や芽、樹皮も食すほか、多肉植物を採食することで、長期の間水を飲まなくても生活することができると言われている。
- 繁殖 一年中繁殖することができ、妊娠期間は30日から40日で一度に1頭の子供を産む。生まれたての子供はわずか2cmほどで、出産後すぐに母親の袋である育児嚢の中に入り込む。母親の袋は生まれて3か月で膨らみ始める。通常は約8か月間袋の中で成長し、半年経った頃に顔を覗かせる。オスは約2年ほど、メスは約1年ほどで性成熟を迎える。
- 寿命 野生では12~18年。飼育下では約20年。
- 特徴 単独で生活するものもいるが、10頭前後の群れをつくり生活する。群れは複数のメスと子供たち、そして1頭以上のオスから形成される。